

平成 26 年 10 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社ピククルスコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 宮本雅弘
 (コード：2925、JASDAQ)
 問合せ先 取締役経理部長兼財務部長 三品 徹
 (TEL. 04-2998-7771)

平成 27 年 2 月期第 2 四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 26 年 4 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績との差異 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,010	667	722	425	66.50
今回実績 (B)	14,122	677	719	269	43.74
増減額 (B-A)	112	10	△3	△155	—
増減率 (%)	0.8	1.6	△0.5	△36.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	13,473	770	863	542	84.88

2. 業績予想と実績との差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高、営業利益、経常利益はほぼ予想どおりとなりました。しかしながら、子会社である株式会社ピククルスコーポレーション札幌は新工場が完成、移転いたしました。旧工場は固定資産の減損損失 132 百万円を第 1 四半期累計期間に特別損失として計上いたしました。これにより、四半期純利益が予想を下回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、連結・単体ともに平成 26 年 4 月 15 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。

以 上